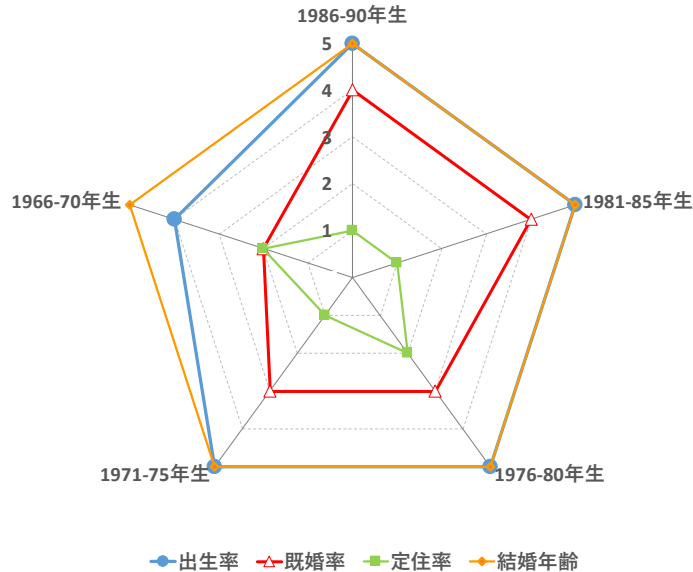


(17) 佐渡市

①出生に関する総合評価

図17-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

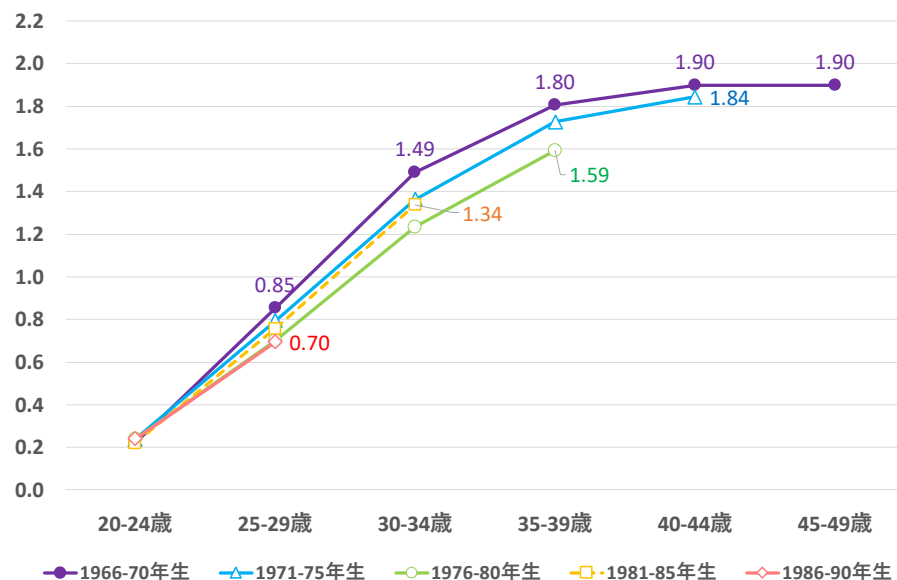
1. 合計出生率は、1966-70年生まれは上位であるが、1971-75年生まれから1986-90年生まれまでは最上位である。
2. 女性既婚率は、1966-70年生まれは下位であるが、1971-75年生まれと1976-80年生まれは中位、1981-85年生まれと1986-90年生まれは上位である。
3. 女性定住率は、1971-75年生まれ、1981-85年生まれ、1986-90年生まれは最下位であるが、1966-70年生まれと1976-80年生まれは下位である。
4. 女性結婚年齢は、すべてのコホートで最上位である。

【総合評価】

1. 佐渡市では、女性定住率が全コホートで下位以下である。女性既婚率は1960年代後半生まれが下位である、70年代生まれは中位、80年代生まれは上位に属している。結婚年齢は全コホートで最上位であり、そのため出生率も1960年代後半生まれが上位であり、70年代生まれ以降はすべて最上位に属している。
2. 1980年代後半生まれコホートの25-29歳までの女性既婚率と合計出生率がそれ以前のコホートよりも大きく低下しているが、他の市町村と比べると依然として高水準である。
3. 25-29歳以降の女性定住率は全コホートで0-4歳時点の60%を下回っており、これが回復しなければ、人口再生産力のさらなる低下が懸念される。

②コホート合計出生率

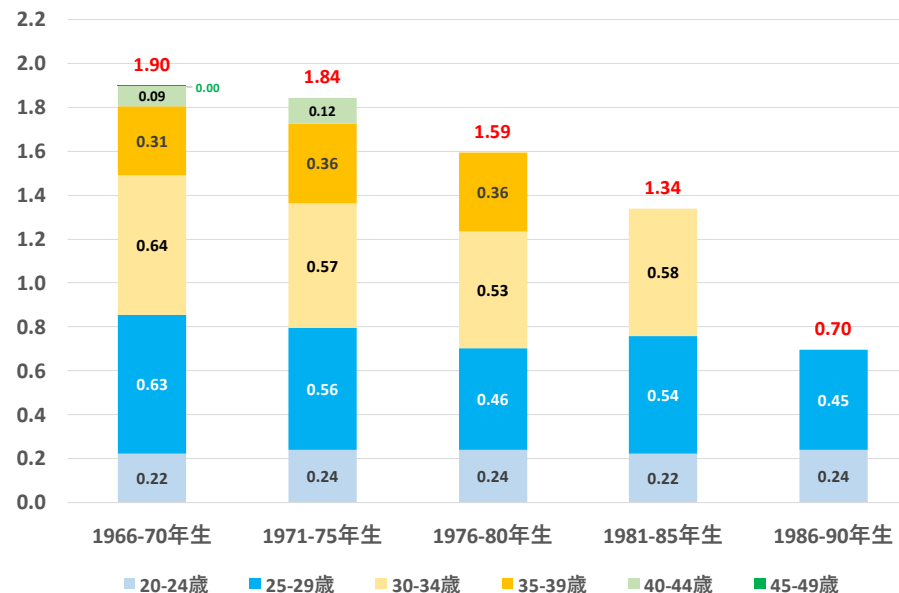
図 17-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 17-2 は、佐渡市のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に合計出生率の大幅な低下がみられる。
- ・ 1976-80 年生まれと 1986-90 年生まれのコホートではさらに 25-29 歳の合計出生率が低下している。一方、1981-85 年生まれは、1971-75 年生まれの水準に回復している。

図 17-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

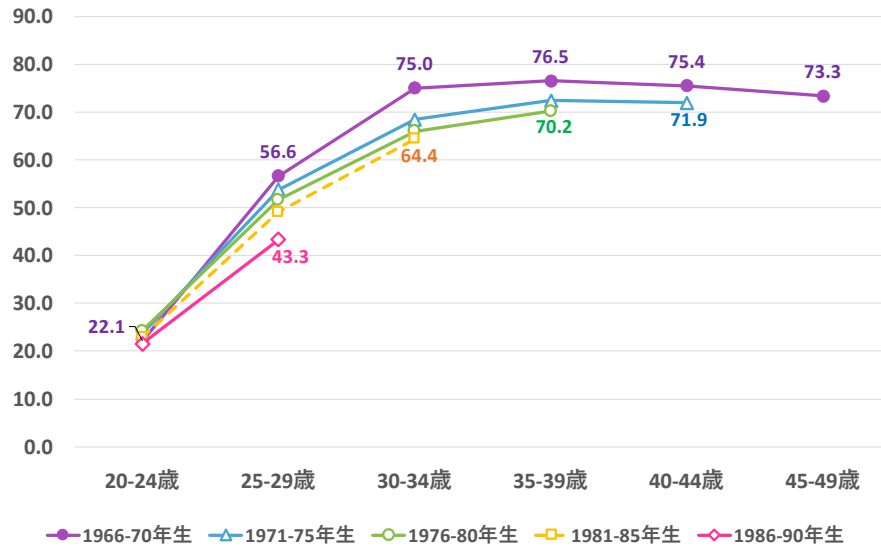


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 17-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.85 人に対して、1986-90 年生まれは 0.70 人に減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.95 人に対して、1976-80 年生まれは 0.89 人にわずかに低下している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、30 歳代でも 1966-70 年生まれから 1 人が生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1976-80 年生まれを除くコホートで 1 人を上回っているが、1986-90 年生まれの 25-29 歳での出生数はこれまでよりも少ない 0.45 人に減少した。

③コホート別既婚率

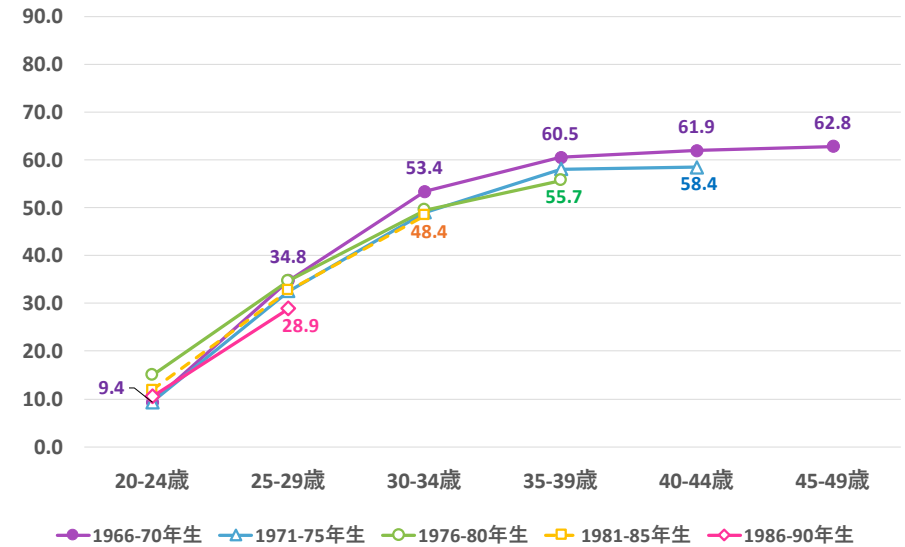
図 17-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 17-4 はコホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 56.6%から 1986-90 年生まれは 43.3%へと 13.3%ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 76.5%から 1976-80 年生まれは 70.2%へと 6.3 ポイント低下している。

図 17-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

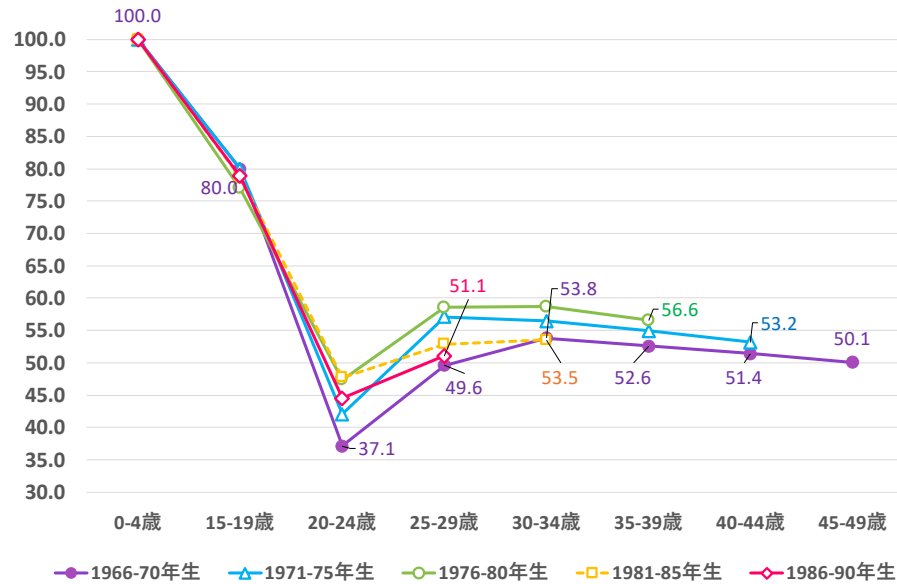


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 17-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 34.8%から 1986-90 年生まれは 28.9%へと 5.9 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 60.5%から 1976-80 年生まれは 55.7%に 4.8 ポイント低下している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%台前半に達するが、男性は 60%前後に止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

④コホート別定住(残存)率

図 17-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

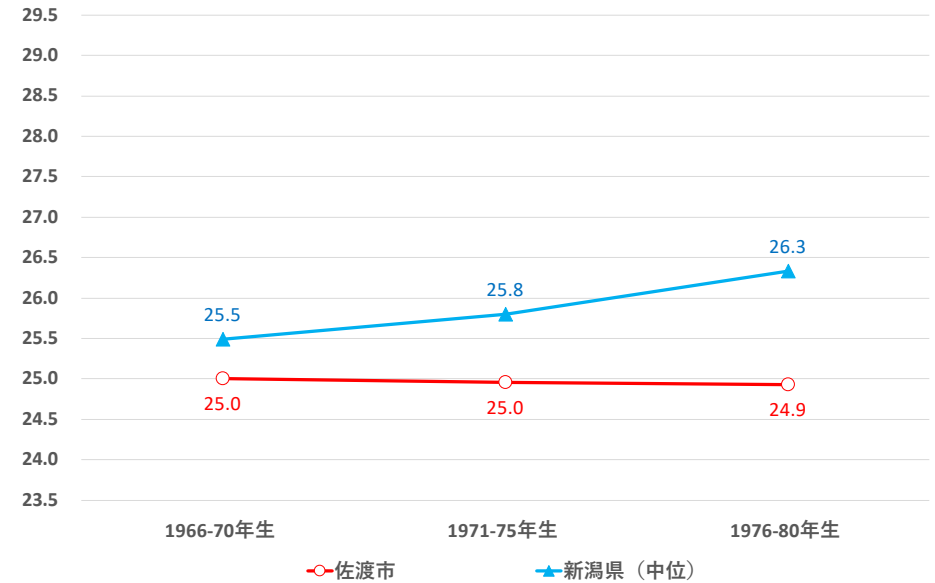


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 17-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの49.6から1986-90年生まれは51.1に1.5ポイント上昇しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの52.6から1976-80年生まれは56.6に4.0ポイント上昇している。
- ・ 佐渡市では、25-39歳時でみると、1970年代生まれの定住率は1966-70年生まれより上昇している。しかし、1980年代生まれでは1966-70年生まれと同水準に戻り、0-4歳時点の50%台に減少する状況が続いている。

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 17-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

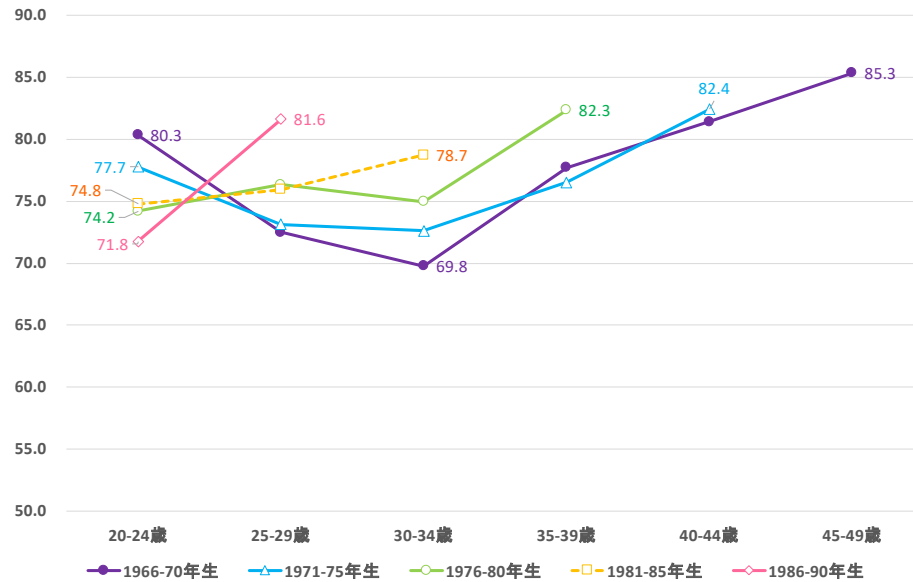


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 17-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.0歳、25.0歳、24.9歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.1歳だけ平均結婚年齢が早くなっている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は6位、1971-75年生の県内順位は2位、1976-80年生は1位と平均結婚年齢が県内で最も早い自治体の一つである。

⑥コホート別女性就業率

図 17-8 コホート別女性就業率 単位：%

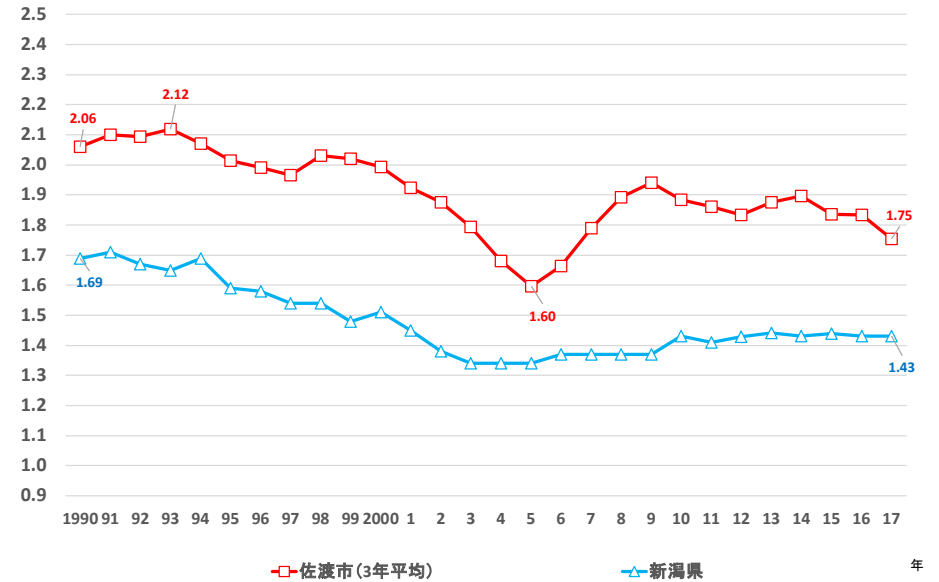


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 17-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれのコホートは低下しているのに対し、それ以外のコホートでは上昇している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると 1966-70 年生まれは 69.8%であったのに対して、1981-85 年生まれは 78.7%に上昇している。
- ・ 1970 年代生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1981-85 年生まれコホートでは 30-34 歳時点で M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 17-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 17-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と佐渡市（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降でみると、佐渡市の期間合計特殊出生率は一貫して新潟県平均より高く、期間平均では 0.43 ポイント高い。
- ・ 佐渡市の期間合計特殊出生率は、1993 年の 2.12 から低下してきたが、2005 年の 1.60 を底に 2009 年には 1.94 まで改善したが、2017 年には 1.75 に低下している。